



第12回：近現代 暗記事項②（韻文）

詩

新体詩 西欧の新しい詩の形式や精神を取り入れる

- ・訳詩集〈新体詩抄〉、〈於母影〉（森鷗外）

浪漫派 感情や情熱／青春における自我の目覚めと解放／抒情的

- 【北村透谷】…雑誌〈文学界〉／「蓬莱曲」（劇詩）
- 【島崎藤村】…「若菜集」
- 【土井晩翠】…「天地有情」

象徴派 西欧象徴主義の影響／連想や類推によって思想やイメージを表現

- 【上田敏】…「海潮音」
- 【蒲原有明】【薄田泣菫】

耽美派 美の享受に最高の価値／感覚的官能的世界／反自然主義的／雑誌〈スバル〉

- 【北原白秋】…「邪宗門」「思ひ出」

口語自由詩完成期の詩人

- 【高村光太郎】…「道程」「千恵子抄」
- 【萩原朔太郎】…「月に吠える」「青猫」
- 【室生犀星】…「抒情小曲集」「愛の詩集」
- 【宮沢賢治】…「春と修羅」「銀河鉄道の夜」（童話）

モダニズム 従来の詩の概念と形式を打破／シュルレアリスム

- 【三好達治】…「測量船」
- 【西脇順三郎】…「Ambarvalia(あむばるわりあ)」

戦時体制下の詩

- ・詩誌〈四季〉【中原中也】…「山羊の歌」「在りし日の歌」
【立原道造】…「萱草に寄す」
【伊藤静雄】…「わがひとに与ふる哀歌」
- ・詩誌〈歷程〉【草野新平】…「蛙」
【金子光晴】…「鮫」「落下傘」

戦後詩

- ・〈荒地〉【鮎川信夫】
- ・〈列島〉【関根弘】
- ・〈權〉【谷川俊太郎】【大岡信】など

短歌

明星派

- ・結社〈新詩社〉、詩歌雑誌〈明星〉→〈スバル〉
【与謝野鉄幹】…新詩社を結成
【与謝野晶子】…鉄幹の妻「みだれ髪」
【北原白秋】…「桐の花」 【石川啄木】→生活派に

生活派

- 【石川啄木】…「一握の砂」「悲しき玩具」／三行書き

根岸短歌会

- 【正岡子規】…「歌よみに与ふる書」(歌論書)／“写生”を主張
【伊藤佐千夫】【長塚節】

アララギ派

子規の弟子たちが中心となる／写生論を深め、万葉集を研究

- ・雑誌〈アララギ〉
【斎藤茂吉】…「赤光」「あらたま」／実相観入論(対象の生命を的確に写す)
【伊藤佐千夫】【長塚節】

戦後の短歌

【近藤芳美】【宮柗二】【塚本邦夫】【寺山修司】

俳句

雑誌〈ホトトギス〉

【正岡子規】…「墨汁一滴」「病床六尺」（どちらも随筆）

【高浜虚子】【河東碧梧桐】

自由律俳句

【荻原泉水】【尾崎放哉】【種田山頭火】

その他の俳人

【水原秋桜子】【山口誓子】【中村草田男】【石田波郷】【加藤楸邨】